やさしさで、つながっていく
TORANOMON HOSPITAL

入院のご案内

―より良い入院生活のために―

国家公務員共済組合連合会
虎の門病院
TORANOMON HOSPITAL

〒105-8470 東京都港区虎ノ門 2-2-2　TEL 03-3588-1111(代表)　https://www.toranomon.gr.jp/

目　次

3 ｜ 虎の門病院の理念と基本方針／患者さんの権利

4 ｜ 患者さんとご家族に守っていただく事項

5 ｜ 急性期医療の役割のご理解とご協力について
心配事や悩み事の相談について

6 ｜ 入院の手続き

8 ｜ お部屋のご案内

10 ｜ 入院中の生活

15 ｜ 患者さんの安全のために

18 ｜ 退院の手続き

21 ｜ 高額医療と限度額適用認定証について

22 ｜ 診断書・証明書の発行について

23 ｜ 施設案内

24 ｜ 個人情報の取り扱いについて

25 ｜ 入院申込書（兼誓約書）

27 ｜ 虎の門病院 案内図

虎の門病院の理念と基本方針

理　念

医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、
その時代時代になしうる最良の医療を提供すること。

基本方針

1. 医学的根拠に基づいた有効な医療を適切な時期に提供します
2. 十分な医療情報提供を行い患者さんの権利を尊重します
3. 医療の安全性を高めるための努力を組織的・系統的に行います
4. いかなる人にも公正に診療機会を提供します
5. 医療資源の有効活用をはかり、明るく健全な病院運営を行います
6. 本院は国際化に対応した急性期病院、分院は主に専門性の高い治療センターとしての役割を担いながら連携し高度な先進医療を行い、職域・地域の要請に応えます
7. 医学研究・高度先進医療などを通じて医学の発展に貢献します
8. 目の前の一人一人の患者さんから学ぶことを基本に、教育病院として次代を担う医師・看護師など有能な人材育成をめざします
9. 以上の項目に病院をあげて取り組むと共に、患者さんと医療者のよりよいパートナーシップを築き上げます

患者さんの権利

虎の門病院は『患者の権利に関するWMAリスボン宣言（世界医師会）』の精神に則り、
患者さんの権利を十分守り最良の医療を提供します。

1. 【良質の医療を受ける権利】差別なく良質かつ適切な医療を受ける権利があります。
2. 【選択の自由の権利】医師・病院を自由に選択し変更する権利、いかなる治療段階においても他の医師の意見を求める権利があります。
3. 【自己決定の権利】自分自身に関わる自由な決定を行うための自己決定の権利があります。
医学研究・医学教育に参加することを拒否する権利があります。
4. 【意識のない患者さん】患者さんが意識不明の場合、法律上の権限を有する代理人からインフォームドコンセントを得たうえで治療を 受ける権利があります。 代理人がおらず緊急性を要する場合には、患者さんの同意があるものと推定して治療を受ける権利があります。
5. 【法的無能力の患者さん】患者さんが未成年あるいは法的無能力者の場合、法律上の権限を有する代理人の同意が必要ですが、患者さんの能力が許す限り、その意思決定に関与する権利があります。また、法的無能力の患者さんが合理的な判断をしうる場合、代理人への情報開示を禁止する権利があります。
6. 【患者さんの意思に反する処置】患者さんの意思に反する検査や治療は、特別に法律が認めるか、医の倫理の諸原則に合致した場合にのみ例外的に行われます。
7. 【情報に対する権利】医療上の記録に含まれる自己の情報を知る権利、医学的事実を含む健康状態に関する説明を受ける権利があります。 例外的にその情報が患者さん自身の生命・健康に危険をもたらす恐れがある場合は除きます。また、必要があれば自分に代わって情報を受ける人を選択する権利があります。
8. 【守秘義務に対する権利】患者さんの健康状態・症状・診断・予後および治療について個人を特定しうるあらゆる情報、ならびにその他の個人の全ての情報は、死後を含めて守られます。また、個人を特定しうるあらゆるデータおよび細胞・組織・臓器などは保護され、適切に保管されます。
9. 【健康教育を受ける権利】健康的なライフスタイルのための教育や、疾病の予防・早期発見についての教育を受ける権利があります。
10. 【尊厳に対する権利】尊厳が守られる権利、苦痛を緩和される権利、人間的な終末期ケアを受ける権利があります。
患者さんの尊厳とプライバシーが守られることは、医療と医学教育の場において常に尊重されます。
11. 【宗教的支援に対する権利】信仰する宗教の精神的・道徳的慰問を受けるか受けないかを決める権利があります。

患者さんとご家族に守っていただく事項

患者さん・ご家族の方との信頼関係を構築し、最良の医療を提供するために、
以下の事項をご理解ください。

1. 診療行為は患者さんの病気の治療あるいは病気の進行を食い止めるために行われますが、多少なりとも危険を伴います。治療を受けるかどうかは説明をお聞きになった上で、患者さん本人が最終判断をしてください。また、治療が病気になられる前の状態への回復を約束するものではないことをご承知ください。
2. 診断・検査・治療などでわからないことは、主治医や看護師へお尋ねください。そして理解し、合意の上で受けてください。理解・合意できない場合はその旨をお伝えください。
3. 病状や治療方針などの説明を受ける際は、聞き間違いや誤解を防ぐため、できれば患者さんご本人だけでなくご家族と一緒にお聞きください。また、ご家族が別々の時間に来院し、それぞれが説明を求めることは極力控えてください。
4. 診療は、救命医療が最優先されます。しかしながら、救命医療に関しての患者さん自身の意思表示が明確かつ有効な場合は、その意思を尊重します。患者さんご本人の意思が不明なときは、ご家族の希望をお聞きします。 また、宗教的信条、ドナーカード、リビングウイル、人工呼吸器の使用の諾否、輸血に関する希望など、ご要望がある場合は、事前に明確に意思表示してください。
5. 暴力・脅迫・器物損壊・強制わいせつ等の犯罪行為に対しては、警察へ通報するとともに、直ちに診療を中止し、退院していただきます。
6. 暴言・強要・セクハラ・診療の指示に従わない、などの行為に対しては、診療の中止等も含め、厳正に対処します。
7. 飲酒（ノンアルコール飲料を含む）は原則禁止となっております。病院敷地内での飲酒があった場合は、診察を中止し、退院していただきます。
8. 病院敷地内は全面禁煙となっております（電子たばこ等を含む）。病院敷地内での喫煙があった場合には診療を中止し、退院していただきます。
9. 携帯電話での通話は、許可された場所でのみ可能です。ご使用の際は他の方々にご配慮をお願いします。また、院内での無断撮影は禁止しております。
10. 医療費の請求を受けたときは、速やかにお支い払いください。

お気づきの点やご不明な点がございましたら、遠慮なく医師・看護師などへご相談ください。

急性期医療の役割のご理解とご協力について

当院は急性期医療の医療機関です。そのため、日頃の治療は「かかりつけ医」で、専門的医療は当院で、と役割を分担しながら、二人の主治医が患者さんの診療を担当します。

入院にあたっては、かかりつけ医の確認をお願いしています。退院時には、かかりつけ医の先生への診療情報提供書を作成し、治療内容を共有して、その後の診療にあたります。日々の健康管理や継続的な治療を受けるためにも、かかりつけ医をもつよう、お願いします。

また当院は、東京都指定二次救急医療機関でもあるため、重症あるいは病状が不安定な患者さんを受け入れられるよう常に病床を確保しておく必要があります。このような理由から、病状が安定した患者さんには退院していただき、他の医療施設やご自宅で療養されることをお願いしています。

退院後の生活について不安などございましたら、看護師・医療ソーシャルワーカーがサポートしますので、お気軽にご相談ください。

心配事や悩み事の相談について

患者さんやご家族が病気療養中に抱える、さまざまな心配事（退院後の生活や療養場所・医療費の負担・社会復帰についてなど）には、社会福祉を専門とする医療ソーシャルワーカーがお話を伺い、問題を解決できるようお手伝いさせていただいています。相談をご希望の場合は、「医療社会福祉相談室」にお尋ねください。

以下のようなご相談に応じます

- **リハビリ・退院後の療養先や転院について相談したい**
- **在宅療養や介護に不安がある**
- **療養中の生活や家族が心配**
- **復職・職業訓練・学校生活について不安がある**
- **医療費や生活費が心配**
- **介護保険制度について知りたい**
- **難病申請・障害者手帳など、社会福祉制度について知りたい・利用したい**
- **退院時の移送手段について知りたい**
- **その他**

相談窓口

医療社会福祉相談室（2階：患者サポートセンター内）9:00～17:00（土・日・祝日除く）
【医療社会福祉相談室】電話 03-3588-1111（内線：2411）

入院の手続き

入院決定～入院当日まで

1 入院の予約

入院が決まりましたら、患者サポートセンター（2 階）で手続きを行ってください。
（8:30 ～ 17:00 ／平日の左記時間外、土・日・祝日・開院記念日、12月29日～1月3日は救急事務室（1階）で手続きを行ってください。）
必要に応じ、看護師面談も実施します。

2 入院日の連絡

入院前日、電話または SMS 送信サービス（ショートメッセージ）にてご連絡します。
※入院日が月曜日の場合は、前週の金曜日にご連絡します。
※入院期間中の外来予約（診療・検査）は自動的にキャンセルとなります。

3 入院の手続き（入院当日）

入院前日の連絡の際に指定した時間（通常 9：00～10：00 頃）に、患者サポートセンター（2 階）にお越しください。
※混雑時には入院時刻が変更となる場合があります。

入院予定日の決まっている方

入院予定日　　月　　日（　　）

**　　月　　日（　　）に、確認のご連絡を**
電　　話 ・ SMS送信サービス（ショートメッセージ）　にていたします。
（9:30～16:00）　（14:00）

※お問い合わせは、入退院調整係までお電話にてお願いいたします。
【入退院調整係】電話 03-3588-1111（内線：2401）

※入院予定日の変更・キャンセルをご希望の場合は、主治医へ直接ご連絡をお願いいたします。

入院予定日の決まっていない方

ベッドが空き次第、入院できる日の前日にお電話いたします。
※ただし、土・日・祝日を除きます。

「高額医療費限度額適用認定証」については、21ページをご参照ください。

4 入院手続きに必要なもの

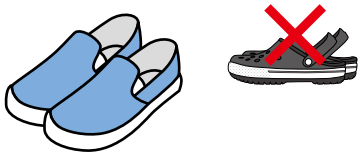
- □ 健康保険証
- □ 各種医療券（高齢者受給者証・特定疾患受給者証・高額療養費限度額適用認定証など）
- □ 診察券
- □ 入院申込書（兼誓約書）（25 ページ）
- □ 朱肉印（シヤチハタ印不可）
- □ 退院証明書（過去 3 カ月以内に当院を含め入院された方のみ）

※入院申込書（兼誓約書）に押印済みの場合、朱肉印は不要です。
※入院中に保険証や医療券が変更になったり、有効期限が切れた場合には、速やかに患者サポートセンター（2 階）にご提示ください。

5 入院中に必要な物（入院当日の持ち物）

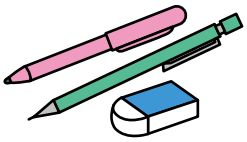
□お薬（服用中のものすべて。入院予定日数分）
□お薬手帳・お薬説明書

□室内履き（かかと付きの靴）
※スリッパ、合成樹脂製サンダル禁止



□入院手続きに必要なもの
（左ページ下）

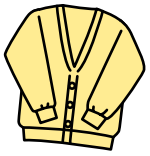
□筆記用具



□ハンガー　※特別個室は持参不要

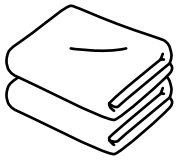
□下着・着替え

□ガウンまたはカーディガンなど羽織るもの

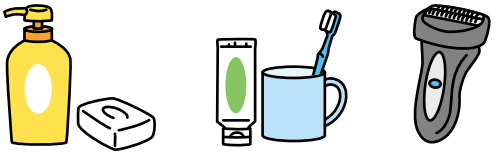


□パジャマ（寝巻き）

□タオル



□洗面用具（歯ブラシ・歯磨き粉・コップ・せっけん・シャンプー・電気カミソリなど）



※個室の場合、パジャマ・タオル・歯ブラシ・歯磨き粉セット・ボディーソープ・リンスインシャンプー・コップが「入院セット」として付いています。ご持参は不要です。

※ロッカー内に収納可能な量としてください。　※事前に荷物を送る場合は、別紙をご参照ください。

6 入院中の禁止事項

はさみ・カッターなど、刃物類の持ち込みは禁止しています。

酒などのアルコール類（ノンアルコール飲料を含む）は持ち込みを禁止しています。

使い捨てカイロや電気あんかは低温やけどを起こす危険性がありますので、持ち込みを禁止しています。

たばこ（電子たばこなどを含む）・ライターの持ち込みは禁止しています。

感染症予防の観点から、生花・鉢植えなど、植物の持ち込みは原則として禁止しています。

ヘアドライヤー・ヘアアイロン・加湿器・電気ポット等の電気製品の持ち込みは禁止しています。

動物（ペット）の持ち込みは禁止しています。

テレビ・楽器など、音の出るものの持ち込みは禁止しています。

ベンジンなど、引火しやすいものの持ち込みは禁止しています。

つけ爪（ジェルネイル）は必ず入院前に外してください。

お部屋のご案内

当院では、特別個室・個室・4人床などのお部屋をご用意しています。その特徴や付帯する設備・費用の違いをご案内します。入院にかかるその他の費用や計算方式については18～19ページをご参照ください。

■ 特別個室 A

（57㎡／バス・トイレ・独立した洗面所あり）

ベッドエリアのほかに、ゆったりとしたリビングスペース、4人掛けのテーブルのあるダイニングスペースがあります。

■ 特別個室 B

（43㎡／バス・トイレ・洗面台あり）

ベッドエリアのほかに、リビングスペース、コンパクトなダイニングスペースがあります。

特別個室 A・B 共通の付帯設備：50インチテレビ、執務作業用デスク＆チェア、2m幅のソファ、リクライニングチェア、足のせ用ソファ、昇降テーブル、セイフティボックス、床頭台、電子レンジ、冷蔵庫、電気ケトル、食器、ヘアドライヤー、ハンガー、掛け時計、温湿度計、電動カーテンなど

■ 特別個室 C

（25~30㎡／シャワールーム・トイレ・洗面台あり）

特別個室 C の付帯設備：
43インチテレビ、大型ソファ、昇降テーブル、床頭台、小型冷蔵庫、化粧台、掛け時計、温湿度計、ヘアドライヤー、ハンガーなど

■ 特別個室専用ラウンジ

特別個室のフロアには専用の「ラウンジ」がございます。
ミーティングやお食事など、ご自由にお使いいただけます。

※いずれの画像もイメージです

■ 個室

付帯設備：シャワー、トイレ、洗面台、22 インチテレビ、冷蔵庫、床頭台、掛け時計、温湿度計、スツール、ロック付きサイドテーブルなど

■ 産科個室（LDR）

付帯設備：50インチテレビ、冷蔵庫、ベッドになるソファ、ラウンジチェア、昇降テーブル、授乳チェア、床頭台、温湿度計、ヘアドライヤーなど

■ 4人床（有料）

■ 4人床（無料）

付帯設備：19インチテレビ、冷蔵庫、ロック付きサイドテーブルなど
※有料のお部屋には、ロック付き間仕切り家具が付きます。
※無料のお部屋の場合、テレビ・冷蔵庫の使用には、セットで 1日につき 1,000円（税別）がかかります。

※いずれの画像もイメージです

各室の室料差額と含まれるサービスの一覧

種 類	区 分	部屋数	病床数	面積（㎡）	テレビ・冷蔵庫	入院セット	Wi-Fi環境	1日あたりの室料（円／税別）
特別個室 A	特 別	2	2	57	○	○	○	200,000
特別個室 B	特 別	2	2	43	○	○	○	150,000
特別個室 C	特 別	32	32	25~30	○	○	○	70,000
個室（有料）	一 般	117	117	13.1	○	○	○	35,000
産科個室（有料）	LDR ※	1	1	30	○	○	○	27,000
4人床（有料）	ー	58	232	ー	○	別	×	7,000
4人床（無料）	ー	82	328	ー	別	別	×	0

- 「別」の部分は、希望された場合のみ、別途料金が発生します。
- 「入院セット」には、パジャマ・タオル・歯ブラシ・歯磨き粉セット・ボディーソープ・リンスインシャンプー・コップが含まれます。
- テレビ・冷蔵庫の使用料は、セットで 1日につき1,000円（税別）となります。
- Wi-Fiは有料の個室のみ使用可能です。

※ 陣痛・分娩・回復を一室で行える、妊産婦さんのためのお部屋です。LDRは非課税です。

入院中の生活

入院後に受ける検査や治療について、「入院診療計画書」や「クリニカルパス」などを用いてご説明します。検査や治療の内容、看護の内容などについてご不明の点やご質問がありましたら、ご遠慮なく主治医または看護師にお申し出ください。

1 病棟の診療体制・看護体制について

診療体制

- 医師は診療科別に分かれて主治医を決めています。
- 夜間および休日は原則として当直医が診療にあたります。

看護体制

- 当院は健康保険法に基づく急性期一般入院料 1（7 対 1）看護体制をとっています。
- 看護師の勤務体制は 3 交代（一部 2 交代）になっています。
- 受け持ち看護師制をとっています（交代勤務のため、受け持ち看護師が不在の場合は別の看護師が担当します）。

2 持ち物の整理と盗難防止について

身の回り品について

- 持ち物の整理には床頭台とベッドサイドロッカーをご使用ください。
- ロッカーに収納できる量にしてください。

床頭台について

- 貴重品ボックスには必ず鍵をかけ、鍵は常時身につけてください。手術・検査時を含め、鍵を病院でお預かりすることはできません。
- 鍵は退院時に床頭台に差したままにしてください。
- 盗難・紛失・破損に関しては、一切の責任を負いかねます。自己責任の下、鍵の管理を含め厳重にご注意ください。

  ※多額の現金はお持ちにならないでください。

  ※貴重品（貴金属・高価な時計など）の持ち込みは固くお断りいたします。

  ※パソコンなどの精密機器の持ち込みは極力お控えください。

持ち込み品について

- 次の物は持ち込みをお断りいたします。
  - はさみ・カッターなど、刃物類
  - 動物（ペット）
  - 楽器その他の音の出るもの、テレビ
  - ベンジンなど引火しやすいもの
  - 酒などのアルコール類（ノンアルコール飲料を含む）
  - たばこ（電子たばこなどを含む）・ライター
  - 使い捨てカイロ・電気あんか
  - 生花・鉢植えなど植物
  - ヘアドライヤー・ヘアアイロン・加湿器・電気ポット等の電気製品
  - つけ爪（ジェルネイル）※入院前に外してください。

3 設備やサービスについて

ナースコール

- 看護師にご用の方は、ナースコールでお知らせください。
- トイレ・洗面所・浴室にもナースコールがあります。ご気分が悪くなったときなどにご利用ください。

冷蔵庫

- 冷蔵庫は各ベッドサイドにあります。
- 庫内はいつも清潔に保つよう心掛けてください。
- 退院の際には、お忘れ物のないよう後始末をしてからお帰りください。

※お部屋によっては有料となります。
8 ～ 9 ページをご参照ください。

電話の使用について

- 各フロアに1台ずつ公衆電話を設置しています。
- 携帯電話は、当院で定めた下記条件の下でご使用ください。

※常時マナーモードに設定してください。
※通話はディルームと個室のみで可能です。多床室は通話不可です。
※メールの使用制限はありません。ただし、手術室・ICU・SCU・GCU・診察室・検査室については使用禁止（電源を切ること）とします。また念のため、医療機器の半径1メートル以内には携帯電話を近づけないようにしてください。

〈皆さまに快適にお過ごしいただくために〉

※病院の療養機能を妨げるような行為が見られた際は、お声を掛ける場合がありますので、ご理解ください。
※ご協力いただけない場合、入院の継続をお断りする場合があります。

テレビ

- 6 時から 22 時まで利用可能です。
- 個室の場合を除き、テレビ視聴時には必ずイヤホンをご使用ください。

※使い捨てイヤホンのご用意があります。

- 個室、小児科フロアではブルーレイも視聴可能です。

※お部屋によっては有料となります。
8 ～ 9 ページをご参照ください。

Wi-Fiについて

- 有料の個室のみ利用可能です。

宅配便について

- 入退院時に荷物を送る場合は、別紙をご参照ください。

入院中の生活

4 1日のスケジュール

起床と消灯

- 起床は6時です。
- 消灯は21時です。
- 各個人のベッドランプの消灯は22時です。

※起床時間前およびベッドランプの消灯時間後は、点灯・談話・読書・テレビなどの視聴をご遠慮ください。

入浴

- 病状により入浴できない場合があります。
- 病棟により利用方法が異なりますので、入院後にご説明します。

食事

- 朝食は8時頃、昼食は12時頃、夕食は18時頃となります。
- 食事は療養の一環として主治医が決定します。病院の食事をお召し上がりください。
- 食事の種類によっては主食を変更することができます。ご希望の方は看護師にお知らせください。
- 食物アレルギーや宗教上の理由により、お召し上がりになれない食品がある方はお知らせください。
- 食事はディルームにてお召し上がりいただくことも可能です。ご希望の方は看護師にお知らせください。
  （病状によってはお断りさせていただく場合があります。）

お薬

- 入院前に服用している薬がありましたら、必ず入院時にご持参の上、看護師・薬剤師にお知らせください。
- 医師・看護師・薬剤師がお渡しした薬以外は、服用・使用しないでください。

検査など

- 診断および治療方針を決めるため、必要な諸検査を行いますのでご協力ください。
- 検査の説明は前日に行います。
- 病棟以外で検査や診療を行う場合があります。行き先は看護師が説明します。
- 病棟を離れる場合には、必ず看護師にお知らせください。

5 外出・外泊について

- 外出や外泊の際には医師の許可が必要です。
- 希望される場合は、希望日の平日2日前までにスタッフステーションでお申し込みください。
- 無断で外出・外泊された場合は、入院を継続することが難しくなる場合があります。

6 お見舞い・面会について（全日）

- 面会時間は12時から20時までです。
- 9階「面会ゲート前受付」にお越しください。そこで「面会者体調確認票」をご記入いただいた後、入院病棟をご案内いたします。「面会者体調確認票」は毎回ご記入が必要です。
- ご家族の方は、入院時にお渡しする「家族用面会許可証」をご使用ください。
- 「家族用面会許可証」のないご友人などは、9階「面会ゲート前受付」でお渡しする「病棟面会許可証」を首におかけください。
- 面会は原則として、ディルーム（面会ホール）でお願いします。
- 療養の妨げとならないよう、面会は短時間でお願いします。
- 面会の方の病棟内での飲食・喫煙（電子たばこなどを含む）は固くお断りいたします。
- 発熱・鼻水・のどの痛み・咳などの症状のある方は、面会をご遠慮ください。
- 小学校入学前のお子さまをお連れになることは原則としてお断りいたします。また感染症予防のため、小児病棟（11階西）には小学生以下のお子さまは入ることができませんので、ご了承ください。
- 電話による入院・面会のお問い合わせには対応していません。関係者の方への連絡はご家族の方からお願いします。また、お見舞いなどで来院された方には患者さんの病棟をご案内しています。案内をご希望されない場合はお申し出ください。
- 感染症予防の観点から、生花・鉢植えなど、植物の病棟への持ち込みは、原則として禁止しています。
- 重症の患者さんや免疫力が低下している患者さんは、感染症にかかりやすい状態になっています。病室によっては手の消毒や予防着・マスクの着用など、ご家族にも協力をお願いすることがあります。方法は看護師がご説明します。

※時間外の面会には医師の許可が必要です。許可がない場合には、時間外の面会はできません。
※時間外の面会は、1階「防災センター」で受け付けます。
※病状によっては面会をお断りすることもあります。面会においでになる方々にも、お伝えください。

面会される皆さまへ

入院患者さんへの感染症予防を目的として、次の①～③のいずれかに該当する方は、原則として面会をご遠慮いただいております。皆さまのご理解とご協力を、お願い申し上げます。

❶ 面会者に次の症状がある

●発熱　●吐き気・おう吐　●咳　●下痢　●鼻水（花粉症を除く）　●眼の充血

❷ 面会者またはご家族など身近な方が、次の感染症にかかっている（1週間以内）

●インフルエンザ　●はやり目（流行性角結膜炎）　●はしか（麻しん）
●風しん　●水ぼうそう（水痘）　●おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）
●感染症胃腸炎（ノロウイルス感染症など）

❸ 小学校入学前のお子さまを連れている

入院中の生活

7 セカンドオピニオンについて

入院中または外来通院中に、「主治医だけなく、他病院の医師の意見も聞いてみたい」というご希望がありましたら、遠慮なく主治医または看護師へお申し出ください。診療情報提供書や電子データなど、必要な資料をお渡しいたします（有料）。

8 災害等緊急時について

火災時の注意

- 火災のときは職員の指示に従って避難してください。
  - 避難するときは、タオルなどで口や鼻を覆ってください。
  - 避難するとき、荷物は絶対に持たないでください。
  - 動けない方には職員などの救護班が対応します。
  - 避難するときはできる限り背を低くしてください。
- 下の階が火災のときは、直ちに職員などが一時避難所または屋外避難所へ避難誘導をします。
- 上の階が火災のときは、落ち着いて職員などの指示に従ってください。

地震時の注意

- 当院は耐震について十分考慮してありますので安全です。地震が起きた場合には職員等の指示に従って、冷静に行動してください。

9 入院中の他の医療機関への受診について

当院はDPC（包括支払い）対象病院※のため、原則として、入院中に保険扱いによる他医療機関（歯科を除く）を受診することはできません。患者さん本人の代わりに家族などがかかりつけの病院から継続してお薬をもらう場合も、受診に該当します。ただし、当院ではできない専門的な診療が必要と主治医が判断した場合は、他医療機関を受診していただく場合もあります。当院入院中に持参されたお薬がなくなる場合や他医療機関の予約が重なっている場合など、他医療機関での受診を希望される場合は、主治医または看護師にご相談ください。

もし、ご相談なしに他医療機関を受診された場合、健康保険を使えず、その費用が全額患者さんの負担となるだけではなく、他医療機関にもご迷惑をおかけすることになりますので、ご注意ください。

※ DPC（包括支払い）については19ページをご参照ください。

〈当院入院中の患者さんが保険扱いで他医療機関を受診した場合の取り扱いについて〉

主治医の指示により、当院入院中の患者さんが他医療機関を受診し、他医療機関で実施した診療行為の費用は、当院の医師が実施した場合と同様に取り扱われます。このため、診療費用については他医療機関での支払いは発生せず、当院から患者さんに当院の入院費として請求させていただきます。

なお、退院日までに他医療機関での診療行為・費用が把握できず、会計が保留になる場合もありますので、ご了承ください。

患者さんの安全のために

1 同じ病気の患者さんや同姓同名の方との間違いを防ぐために

- 間違いを防ぐため、検査や処置などの際に氏名・生年月日をお尋ねします。ご面倒をおかけしますが、ご協力をお願いします。点滴ボトルや内服薬などにご自分の名前が書いてあるかどうかも確認してください。
- ご家族の方も、患者識別リストバンド・点滴ボトルの氏名などをご確認ください。
- 輸血を受けるときは、ご自分の血液型・氏名・生年月日を確認してください。輸血前後の体調不良などは、遠慮なく医師や看護師にお申し出ください。

2 個人の尊厳と危険防止の兼ね合いについて

- 患者さんの状態によっては、入院中に転倒･転落･徘徊が生じることがあります。ご家族の同意を得た上で行動制限（抑制・拘束）を実施することもありますが、最小限にとどめています。多少のリスクがあっても個人の尊厳の方が重要と、当院は考えます。
- 不安な点がありましたら、病棟の看護師長にご相談ください。ご希望によっては、ご家族に付き添っていただくことも検討します。

3 院内感染防止について

- 医療従事者は院内の「感染防止対策マニュアル」に従って医療行為をしておりますが、病院内にはいろいろな病原菌を持った患者さんが入院しているため、院内感染が完全に防げるわけではありません。
- 感染予防のために、食事前・トイレの後にはせっけんを使って手を洗ってください。検査や外出から戻った際にも、手洗いや手指の消毒を行うことをお勧めします。廊下などに置いてある手指消毒薬をご利用ください。

4 転倒を防ぐために

年齢にかかわらず、病院は転倒しやすい所です。思わぬ骨折や脳出血で重篤となるケースがあります。転倒を防ぐために、以下を心掛けてください。

- 入院日・退院日前後は転倒が多くなります。慎重に行動しましょう。
- **スリッパ、合成樹脂製サンダルは危険です。かかとのある靴を履きましょう。**
- ベッド周りにはなるべく物を置かず、整理整頓をしましょう。
- ベッドは、腰掛けたとき、足が床にしっかり着く高さに看護師と調整しましょう。
- オーバーテーブルや床頭台は動きます。寄りかからないようにしましょう。
- 靴を履くときや着替えるときは、腰掛けて行いましょう。
- 熱があるときや睡眠薬を飲んだときは、トイレ歩行時に転倒しやすくなります。ふらつくときは、動く前に看護師を呼んでください。
- 体のどこかをぶつけたり転んだりしたときは、すぐにお知らせください。
- 転倒・転落のリスクが高いと判断された場合、カラーのリストバンドを装着していただきます。医療従事者がサポートしますので、ご協力ください。

患者さんの安全のために

5 深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症を防ぐために

「深部静脈血栓症」は、主に足の深いところの太い血管（静脈）に血のかたまり（血栓）ができることです。手術中や手術後または入院中には、血栓ができる要因がそろいやすくなります。
「肺血栓塞栓症」はこの血栓が肺に送られて、肺の血管で詰まってしまう病気です。飛行機に長時間乗ったときなどに起こる「エコノミークラス症候群」は、これと同じものです。肺血栓塞栓症は発症すると死亡率の高い病気ですので、予防が大切です。

血栓ができる要因

❶ 血液の流れがうっ滞する（流れにくくなる）

手術中や手術後または入院中に寝たきりでいると、「筋ポンプ」、「呼吸ポンプ」、「フットポンプ」の働きが弱まり、血液が心臓に戻りにくくなります。

❷ 血液が固まりやすくなる

生まれつきの要因に加えて、以下の方は「血液そのものが固まりやすい」傾向があるとされています。

- 高齢（60 歳以上）の方
- 標準体重を大きく超えている方
- 心臓の持病がある方
- 悪性腫瘍の方
- 妊娠している方
- **女性ホルモンに関連する薬（経口避妊、月経困難症、骨そしょう症など）を内服または外用している方**
- たばこをたくさん吸う方

❸ 血管の壁に傷が付く

手術操作によって、血管の壁に傷が付くことがあり、傷付いた血管の内側には血栓が形成されやすくなります。また、手術後に感染が起こると、血管の壁に傷が付きやすくなります。

※脱水状態は血栓ができやすくなるので、十分に水分を補給しましょう。ただし、水分制限がある方はその指示に従ってください。

症状

❶ 深部静脈血栓

はっきりした症状が現れない場合もありますが、足が腫れる、押さえると痛む、発赤（皮膚が赤くなる）、むくむ、などの症状が出ることがあります。何か異常に気付いたときには、看護師にお知らせください。

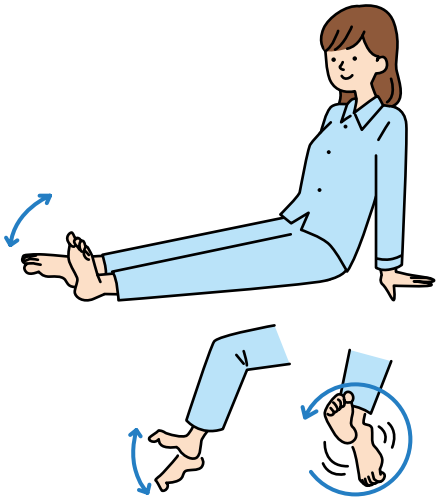
❷ 肺血栓塞栓症

非常に小さな血栓はすぐに溶かされるので症状がはっきりと現れないこともありますが、繰り返し血栓が肺の血管に流れ込むと、息切れや咳・痰・冷や汗などの症状が出ることもあります。
また、大きな肺の血管に血栓が詰まってしまうと、動悸（脈が速くなる）、呼吸困難（息苦しい）、意識がなくなるといったことが起こります。ひどい場合には、心臓が停止することもあります。
特に安静が解除された動き始めのときに症状が出やすい傾向があります。いつもと何か違うと感じることがあれば、看護師にお知らせください。

予防法

受ける手術の種類や患者さんの状態に合った予防法を、医師や看護師がご説明します。
医師や看護師と相談の上、実施してください。

❶ 早期離床と足の運動



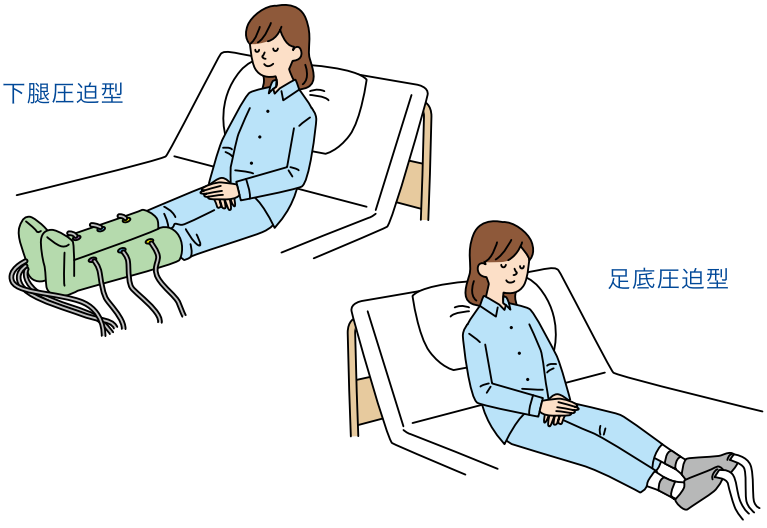
足の血管（静脈）の血液が心臓に戻ってくるためには、フットポンプ、筋ポンプ、呼吸ポンプを働かせることが重要です。

- なるべく早くベッドから起きて歩き、足底に体重負荷をかけ、フットポンプを働かせましょう。ただし、初めて歩くときは看護師と一緒に行いましょう。
- 足のつま先を上下させたり、円を描くように足を動かして足の筋肉を伸び縮みさせ、筋ポンプを働かせましょう。
- 深呼吸し、呼吸ポンプを働かせましょう。

❷ 下肢圧迫法

手術前もしくは長期安静臥床中に弾性ストッキングや弾性包帯をはき、十分に歩行が可能になるまで着用します。弾性ストッキングは足全体もしくはつま先から膝下までを段階的に圧迫し、血流のうっ滞を予防します。最適なサイズを選ぶことが重要です。ストッキングを着けたとき、皮膚のトラブルや痛みなどがあれば看護師にお知らせください。

❸ 間欠的空気圧迫法



足部（足首からつま先にかけて）や足全体、あるいはふくらはぎの周囲に袋状のものを巻き付けます。その袋状のものにポンプ（間欠的空気圧迫装置）から空気を一定の間隔で送り込みます。周期的に圧迫することで、深部静脈にたまった血流が心臓に向かって押し出され、血流のうっ血を改善し、静脈血栓を防ぎます。

❹ 抗血栓療法

手術を受けたり長期安静臥床になると、血液が固まりやすくなります。これを防ぐには血液を固まりにくくする薬（**抗血栓薬**）を体内に投与する以外に方法がありません。これは皮下注射・静脈注射（点滴）で行います。発症率の高い欧米では、最も推奨されています。日本でもこの頻度が高まっているため、使用されることが多くなってきました。医師が必要性を判断し、慎重に使用します。薬の効果を判断するためには、採血が必要になることがあります。また、副作用として手術後の出血が懸念されます。

退院の手続き

主治医から退院の許可がありましたら、退院について担当の看護師とご相談ください。
退院にあたっての注意や退院後の療養の計画をまとめた「退院療養計画書」をお渡しします。

1 退院の手続きについて

- 退院の時間は原則、午前中となっております。
- 医師から退院の許可がありましたら、お帰りになる時刻をスタッフステーションにお知らせください。
- 「請求案内」は退院日までの分を計算してお届けいたしますので、お支払いの上ご退院ください。なお、治療内容等によっては退院時にお渡しできない場合があります。その際は後日、郵送いたします。また、退院当日の処方・処置等が請求時に間に合わず、「追加請求」させていただく場合がありますので、ご了承ください。

※入院費についてご不明な点は、支払相談（2階）でお尋ねいただくか、医事課料金算定係にお電話ください。

【医事課料金算定係】電話 03-3588-1111（内線：2510）

2 入院費のお支払いについて

入院費について（2019年4月現在）

健康保険・国民健康保険・退職者医療・後期高齢者医療を利用される方の1日分の個人負担額は、次のとおりです。
入院費は、以下のA～Eを合算して算出します。

A 入院基本料

一般の病棟の場合、DPC（包括支払い）により算定します。結核病床の場合、1,991点となります。健康保険の負担割合の違いにより、個人負担額は異なります。入院保証金はありません。

B 食事療養費

1食につき460円となります。

C 室料差額

お部屋によって差額が発生します。詳しくは8～9ページをご参照ください。入院費の計算は、健康保険法の規定により、ホテルなどの宿泊の計算とは異なり、午前0時を起点にした日数計算となります（例：1泊2日のご入院の場合、室料は2日分となります）。

D 選定療養費

同一症病名による入院期間が180日を超える場合、選定療養費（1日2,390円・消費税別）が発生することがあります。
なお、過去3カ月以内の入院（一部疾患を除く）は通算いたします。

E その他（自費でご負担いただくもの） ※いずれも消費税別

- **人工肛門消耗品**……（1個につき）ユーケアD213円、ユーケアUC630円、イレファインD40パウチ649円
- **小児おやつ**……1食につき100円
- **エンゼル処置**……10,000円
- **紙オムツ**……70円、パンパース（S）30円、パンパース（M）30円、パンパース（新生児用）20円

※上記以外に自費でご負担いただくものもございます。
※人工肛門消耗品については課税対象外となります。

DPC（包括支払い）について

当院は、厚生労働省の指定により DPC（包括支払い）対象病院となっており、入院費の計算は以下のようになります。ただし、入院している間の病名や診療内容等により計算方式が変わる場合があります。その場合、入院の初日にさかのぼって入院費の再計算を行うことになり、すでにお支払いになった入院費が追加または返金となることがありますのでご了承ください。

DPC（包括支払い）とは、病名や診療内容などにより1日あたりの包括部分の入院費が決まり、包括部分の金額に出来高部分の金額を合算する計算方法です。ただし、病名や診療内容などによっては、すべて出来高計算方式となる場合があります。

なお、DPC データは、厚生労働省が発行する「DPC データの提供に関するガイドライン」に準じて、個人が完全に特定できないかたちで第三者に提供する場合があります。

DPC（包括支払い）計算方式

DPC

包括部分		出来高部分
薬（投薬・注射）		手術料・麻酔料
レントゲン料	＋	リハビリテーション料
検査料		食事療養料
入院基本料		

病名や診療内容等により、1日あたりの入院費が定められています

入院費の請求

入院費の請求は毎月1回です。月末までの請求案内を翌月 10 日頃に病棟で配付しますので、お受け取り後、速やかにお支払いをお願いします。

また、退院の際は当日までの請求案内をお渡ししますので、お支払いの上、ご退院ください。ただし、治療内容などによっては退院時に請求案内をお渡しできない場合があります。その際は後日、郵送いたします。

入院費のお支払い

■お支払いには、現金・クレジットカード・デビットカード・Alipay をご利用いただけます。

※入院費についてご不明な点は、医事課料金算定係にお電話ください。

【医事課料金算定係】電話 03-3588-1111（内線：2510）

■お支払いは、原則診療費支払機でお願いいたします。

■お支払い方法によって対応する診療費支払機が異なりますので、下表にてご確認ください。

	設置場所	支払可能時間	支払方法
診療費支払機	9階（1台）	平日 8:00～18:30	現金・クレジットカード・デビットカード
		平日 18:30～20:00	クレジットカード・デビットカード
		土・日・祝日 8:00～20:00	クレジットカード・デビットカード
	3～5階（各1台）	平日 8:00～17:00	クレジットカード・デビットカード
	2階（7台）	平日 8:00～18:30	現金・クレジットカード・デビットカード
		平日 18:30～20:00	クレジットカード・デビットカード（1台のみ稼働）
	1階（1台）	年中無休24時間※	クレジットカード・デビットカード
有人受付	2階　支払相談	平日 8:30～17:15	原則、診療費支払機でのお支払いになります。
	1階　救急外来受付	平日 17:15～8:30	現金・クレジットカード・デビットカード・Alipay
		土・日・祝日 24時間	現金・クレジットカード・デビットカード・Alipay

※ただし23:50～00:10はメンテナンスのため休止します。

※診療費支払機でお支払いできなかった場合、サインでのクレジットカード決済または Alipay によるお支払いの場合は、
平日8：30～17：15は支払相談（2階）へ、平日17：15～8：30および土・日・祝日は救急外来受付（1階）にお越しください。

※診療費支払機でカードによるお支払いをされる場合、暗証番号の入力と診察券が必要です。なお分割払いはご利用できません。

※一部ご利用いただけないカードがございます。詳しくは、支払相談（2 階）までお問い合わせください。

ご利用可能なクレジットカード

領収書は確定申告や高額医療費の手続きなどで必要になります。再発行はいたしませんので、大切に保管してください。なお紛失や他の手続きで使用された場合は、「領収証明書」を発行いたします（有料／22 ページ参照）。支払相談（2 階）でお申し込みください。

高額医療と限度額適用認定証について

病気やけがの治療で医療費が高額になった場合、入院の方は「限度額適用認定証」を病院に提出すれば、病院への支払額を軽減できます。事前にご用意の上、入院の際に患者サポートセンター（2 階）に保険証と共にご提出ください。
この認定証を得るには、患者さんご自身（あるいはご家族）による申請が必要です。申請先は、加入している保険によって異なります。

健康保険限度額適用認定証

平成　年　月　日交付

被保険者	記号		番号	
	氏名			男女
	生年月日	大正・昭和・平成　年　月　日		
適用対象者	氏名	見　本		男女
	生年月日	昭和・平成　年　月　日		
	住所			
発効年月日		平成　年　月　日		
有効期限		平成　年　月　日		
適用区分				
保険者	所在地			
	保険者番号 名称及び印			

手続きの流れ

❶ 入院に先立って、患者さんが申請書を提出。

申請先はご加入の保険によって異なります。

例えば

国民健康保険の方は【市区町村の窓口】
健康保険の方は【各保険組合または勤務先】となります。
※詳しくは保険証の発行元におたずねください。

❷ 申請先から被保険者（患者さん）に「限度額適用認定証」が発行される。

❸ 入院の際に、患者さんが「限度額適用認定証」を病院の患者サポートセンター（2階）に提示する。

❹ 病院での支払いの際に、支払額が軽減される。

※入院の時期があらかじめわかっている方は、入院前に申請できます。
※入院時に提示できない場合は、お申し出ください。同一月内にご提示いただければ利用できる場合があります。
※ 1 カ月（1 日から月末日）ごとの適用となります。
※入院当月内にご提示ください。月が変わると適用できません。
※食事代や室料差額、保険適用外のものについては対象になりません。

診断書・証明書の発行について

入院中は、当院所定の診断書および診療情報提供書のみ、お申し込みになれます。
それ以外の書類につきましては、退院後（退院日も含む）、各受付窓口にお申し込みください。
各診断書・証明書の料金と受付窓口は下表でご確認ください。
いずれも受付時間は 8:30～17:00（土・日・祝日を除く）です。
なお、発行までには多少の日数がかかりますので、余裕をもってお申し込みください。
下表にない診断書・証明書などについては、職員にお尋ねください。

項 目	名 称	金額（円／税別）	受付窓口	
			入院中	退院後
当院所定	診断書	4,000	スタッフステーション	2階　診断書受付
	死亡診断書	4,000	ー	2階　診断書受付
	入院証明書（期間のみ）	1,000	ー	2階　診断書受付
	英文診断書	8,000	ー	2階　診断書受付
	出産証明書	4,000	分娩室	2階　診断書受付
	領収証明書	500	ー	2階　支払相談
その他	生命保険関係診断書	8,000	ー	2階　診断書受付
	特定疾患診断書	4,000	ー	2階　診断書受付
	身障者診断書	8,000	ー	2階　診断書受付
	診療情報提供書	保険適用	スタッフステーション	各階受付
	傷病手当金意見書	保険適用	ー	2階　診断書受付

受付時間：8:30～17:00（土・日・祝日を除く）

施設案内

コンビニエンスストア

- 2階　年中無休　6:30～20:00
- 9階　年中無休　24時間営業

看護・介護用品を取り扱っています。

キャッシュコーナー（ATM）、
宅配便の取り扱いもございます。

自動販売機

- 各病棟のディルームに設置されています。

私物洗濯サービス

- 洗濯担当業者にご相談ください。
- 洗濯物の集配は、洗濯担当業者が直接お部屋にお伺いいたします（有料）。
- ご利用の方は9階の受付にお申し込みください。
  日・年末年始を除く 9:00～16:00

レンタルサービス

- 入院中に必要なものを貸し出すサービスです（有料）。
- ご利用の方は9階の受付にお申し込みください。
  日・年末年始を除く 9:00～16:00

ヘアサロン

- 9階　月～金　9:30～18:00
- 医療用ウイッグも取り扱っています。お気軽にご相談ください。

※当院が休診の場合はお休みです。

郵便物

- 郵便ポストは正面玄関前・コンビニエンスストア（2階・9階）内に設置してあります。
- 外部からの手紙類はスタッフステーション経由でお渡しいたします。
- 書留・小包の受け取りは、印鑑をお持ちの上、守衛室（1階）までお越しください。
- 退院後に届いた郵便物は、ご自宅へ転送いたします。

駐車場

- 利用料金は30分400円です。
- 入院患者さんおよびそのご家族は、患者さんお一人につき1台まで30分200円でご利用いただけます。9階のゲート係員に面会許可証と駐車券をご提示ください。

※車両制限があります。詳細は守衛室係員にお尋ねください。

タクシー

- 1階エントランスの車寄せにタクシー乗り場があります。
- 24時間ご利用可能です。
- 乗り場にタクシーが停車していない場合は、タクシー乗り場スタッフまたは防災センター（1階）にお声がけください。

ディルーム（面会ホール）

- 各病棟にディルームがあります。
- 利用できるのは6:00～21:00です。
- ディルーム内での飲食または騒音は、他の方の迷惑になりますのでお控えください。

患者図書室（無料）

- 9階にあります。無料です。
- 医療関係の図書や公開講座の DVD を貸し出しています。
- 利用できるのは平日の 10:00 ～ 16:00 です（原則）。

屋上庭園

- 一般病棟にご入院の方は、下記の時間帯にご利用いただけます。

  利用時間 4月～6月・10月　11:00～17:00
  7月～9月　11:00～18:00
  11月～3月　11:00～16:00

- 結核病床にご入院の方は、
  通年、9:30～10:30の間ご利用いただけます。
  ※お出かけの際は、スタッフステーションまでお知らせください。

個人情報の取り扱いについて

当院では、患者さんの個人情報の取り扱いについては、「虎の門病院における個人情報の保護に関する基本方針」、「虎の門病院における患者さんの個人情報の利用目的」に従い、細心の注意を払っております。個人情報の取り扱いについてお気づきの点などがありましたら、医事課医事係までお申し付けください。

❶ 当院では、患者さんに関する外部からの問い合わせについては、原則として、お答えしておりません。

❷ 面会者からの病室の問い合わせについては、9 階「面会ゲート前受付」で、入院されている病棟のスタッフステーションをご案内しております。

上記事項以外の対応を希望される場合は、患者サポートセンターまたは病棟スタッフステーションにお申し出ください。

診療録（カルテ）の開示について

インフォームド・コンセントの推進と医療の透明性を確保するために、ご本人からの請求に対しては、開示を原則といたします（有料）。ただし、診療上患者さんの不利益となる場合などの理由により、やむを得ずお断りすることもございますので、ご了承ください。

外科手術・処置を受ける患者さんへ

虎の門病院および虎の門病院分院は National Clinical Database（日本臨床データベース機構）に参加しています。

患者さんに向けたより良い医療を提供する上では、医療の現状を把握することは重要です。まして病院医療の崩壊が報道される昨今、外科治療の成績向上のためには現状の正確な理解が不可欠です。

そこで日本外科学会をはじめとする多くの臨床外科系学会が連携し、「一般社団法人 National Clinical Database」（以下、NCD）が設立されました。この目的は現在日本で行われている外科手術・処置をデータベースとして蓄積し、より適切な医療を提供するため各臨床現場の取り組みを支援することです。

登録される情報は日常の診療で行われている検査や治療の契機となった診断・手術などの各種治療やその方法などとなります。NCD に患者さんのお名前を登録することはなく、それ自体で患者さん個人を容易に特定することはできないものですが、患者さんに関わる重要な情報ですので厳重に管理いたします。

情報の取り扱いや安全管理にあたっては、関連する法令や取り決め（「個人情報保護法」、「人を対象にした医学系研究に関する倫理指針」、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」など）を遵守しています。

NCD 参加施設は、日本全国の標準的成績と対比をする中で各施設の特徴と課題を把握し、それぞれが改善に向けた取り組みを行います。国内外の多くの事例では、このような臨床現場主導の改善活動は、医療の質の向上に大きな成果を上げています。また、登録されたご自身のデータをご覧になりたい場合は、受診された診療科にお問い合わせください。

登録される情報は、参加施設の治療成績向上ならびに皆さまの健康の向上に役立てるために、参加施設ならびに各種臨床領域にフィードバックされます。この際に用いられる情報は集計・分析後の統計情報のみとなりますので、患者さん個人を特定可能なかたちで、NCD がデータを公表することは一切ありません。当院から NCD へ登録した情報が正しいかどうかを確認するため、NCD の担当者が患者さんのカルテや診療記録を閲覧することがあります。

本事業への参加は、患者さんの自由な意思に基づくものであり、参加されたくない場合は、データ登録を拒否することができます。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

入院申込書（兼誓約書）

入院日　　年　　月　　日

虎の門病院　院長殿

この度、貴院へ入院するにあたり、貴院諸規則を厳守し、貴院職員の指示、院内掲示物、入院案内書等による指示に従うことを誓約いたします。

■ 万一、貴院の諸規則に違反し、または貴院職員の指示に従わなかった場合、退院命令が下されても異議を申したてません。

■ 入院費、その他入院中の療養に係る諸費用に関しては遅滞なく支払い、退院の際に請求書が発行された場合は、退院時に全額精算いたします。

■ **貴院に対する入院費などの支払債務につきましては、連帯保証人は患者本人またはその法定代理人などと連帯して下記の極度額を限度に保証債務を負います。**

■ 万一、支払いが滞ることがあれば、法的手続きにより支払い請求を受ける旨、了承いたします。

上記の通り同意し、貴院に入院を希望しますので、申し込みます。

患者	ふりがな			性別	男 ・ 女
	氏名	印			
	生年月日	年　月　日（　歳）			
	住所	〒			
	電話（自宅）		電話（携帯）		
	勤務先名		電話（勤務先）		

身元引受人	ふりがな			性別	男 ・ 女
	氏名	印			
	生年月日	年　月　日（　歳）		続柄	
	住所	〒			
	電話（自宅）		電話（携帯）		
	勤務先名		電話（勤務先）		

連帯保証人	ふりがな			性別	男 ・ 女
	氏名（自署）	印			
	生年月日	年　月　日（　歳）		続柄	
	住所	〒			
	電話（自宅）		電話（携帯）		
	勤務先名		電話（勤務先）		
極度額		円			

ご提出について

- 入院誓約書は、すべてご記入の上、入院の際にご提出ください。
- 身元引受人と連帯保証人は別の方をお願いいたします。
- 連帯保証人については、必ず自署で署名捺印をお願いいたします。
- 捺印は朱肉印（シヤチハタ不可）でお願いいたします。

入院期間等について

同一症病等による入院期間が通算して180日を超える場合は、選定療養費（1日につき2,390円／税別）が発生する場合がございます。
過去３カ月以内に当院を含めて入院されていた場合は、医療機関名・入院期間等をご記入ください。

Ⅰ）過去３カ月以内の入院歴をお知らせください。　　有　・　無

Ⅱ）上記で「有」の場合 → 退院証明書をご提示ください。
→ 退院証明書をお持ちでない場合ご記入ください。

医療機関名		入院期間	年　月　日～　年　月　日

入院費などの未払い者への対応について

当院からの請求に対し、正当な理由なく支払いがない場合は、以下のとおり対応いたします。
（治療内容や治療経過等または職員の対応への不満は、正当な理由には該当しません）

遅延損害金の請求

請求書発行後、1 カ月を経過しても正当な理由なく入金が確認されない場合は、請求日の翌日より起算し年 5%の遅延損害金を請求する場合があります。

指定法律事務所への委任

特に悪質と判断される未払い者に対しては、当院指定の法律事務所へ回収業務を委任し、法的措置を講じる場合があります。

未払い者の退院後の外来受診について

退院後、正当な理由なく未払いがある場合は、外来受診前に必ず担当職員より経済状況などの確認を行います。

連帯保証人について

主たる債務者がその債務を履行しない場合、連帯保証人に履行業務が発生いたします。正当な理由なく、主たる債務者が入院費などの支払いをしない場合は、直ちに連帯保証人へ請求いたします。

虎の門病院 案内図

19F	● 特別病棟		● 特別病棟
18F	● 無菌病棟		● 一般病棟
17F	● 一般病棟		● 一般病棟
16F	● 一般病棟		● 一般病棟
15F	● 一般病棟		● 一般病棟
14F	● 一般病棟		● 一般病棟
13F	● 一般病棟		● 一般病棟
12F	● 一般病棟		● 一般病棟
11F	● 一般病棟		● 小児科病棟
10F	● リハビリテーション		
9F	● 屋上庭園 コンビニ ● 面会ゲート前受付		患者図書室 ● 中央図書室 ヘアサロン
8F			
7F	● ICU・SCU ● 自己血採血室 ● 血管撮影室		
6F	● 手術部		
5F	● 共通外来 ● 生理検査 ● 通院治療センター ● 薬剤		
4F	● 共通外来 ● 小児科外来 ● 内視鏡 ● 採血・採尿		
3F	● 共通外来 ● 歯科外来 ● 血液浄化療法 ● 放射線		
2F	● 総合案内 ● 初診・紹介 ● 診断書 ● 予約外 ● 受診相談 ● 次回予約 ● 料金計算 ● 支払相談 ● 検査説明 ● 診療費支払機 ● 再来受付機 ● 患者サポートセンター ● 人間ドック予約 コンビニ		北入口 南入口
1F	● 救急外来（ER） ● 講堂 ● 防災センター ● 守衛室 TAXI タクシー乗り場		正面入口
B1	● 栄養指導		
B2	● 放射線治療 ● 核医学 駐車場		
B3			

病院までの交通案内

1. 地下鉄・日比谷線「虎ノ門ヒルズ」駅Ⓐ2出口より徒歩3分
2. 地下鉄・銀座線「虎ノ門」駅③番出口より徒歩6分
3. 地下鉄・千代田線、丸ノ内線、日比谷線「霞ケ関」駅より徒歩8分
4. 地下鉄・南北線「溜池山王」駅⑨番出口より徒歩8分

国家公務員共済組合連合会
虎の門病院
TORANOMON HOSPITAL

〒105-8470 東京都港区虎ノ門 2-2-2　TEL 03-3588-1111(代表)　https://www.toranomon.gr.jp/